

堀米庸三 ほりみ 庸三 西洋史學者。大正二年一月二十四日山形縣西村山郡

谷地町生れ、昭和五十年十二月二十九日没（一九三一—七五）。第一高等學

校を経て、昭和十二年東京帝國大學文學部西洋史學科卒。翌年大醫院

を中退して日伊協會囑託となり、『日伊文化交流史』(日伊協會編、

昭和十六年十一月二十日日伊協會)を執筆。十九年神戸商科大学経済科

教授、二十六年北海道大学教授、二十九年東北大学教授兼任、三十一年

年東京大学教授となり、四十四年の東大闘争では文藝部長として機動

隊を導入、授業再開を遂行した。戦後の歐洲中世史研究を主導した。

人で研究領域は廣く、評論、隨筆類も多數。

著書『山洋中世世界の崩壊』(昭和二十二年六月二十日岩波書店「岩

波全書」)、『歴史と人間』(昭和四十年十一月二十日日本放送出版

協会「NHKブックス」)、『歴史の意味』(昭和四十五年六月二十

日中央公論社)、『歴史家の心ごとく旅』(昭和四十六年十二月十日新

潮社)、『ヨーロッパ歴史紀行』(昭和四十八年七月二十五日潮出版

社)、『紀行と隨想』(昭和五十一年二月二十一日近藤出版社)、『わ

が心の歴史』(昭和五十一年六月十五日新潮社)等。



### 日伊文化交流史

日伊協會 編纂

歴史と人間

堀米庸三 著 中央公論社

歴史の意味

堀米庸三 著 中央公論社

歴史家のひとり旅

堀米庸三 著 新潮社

ヨーロッパ歴史紀行

堀米庸三 著 新潮社

紀行と隨想

堀米庸三 著 近藤出版社

わが心の歴史

堀米庸三 著 近藤出版社

同時代と後世への小さな贈り物